

令和2年度 第1回今治市子ども・子育て会議（書面会議）会議録

- 1 期 間 令和2年11月2日（月）～ 令和3年1月28日（木）
- 2 議 題 今治市子ども・子育て支援事業計画の進捗状況について
- 3 報 告 委員の交代について、第2期今治市子ども・子育て支援事業計画の訂正について
- 4 委 員 泉浩徳委員（会長）、青井努委員（副会長）、砂田ひとみ委員、村上伸幸委員、原田周範委員、龍田三津子委員、越智瑞啓委員、田中弘委員、清水正恵委員、村上正親委員、中川豊和委員、松尾直紀委員、矢野信子委員、松本義秀委員、梶原淳一委員、渡邊美幸委員、桑原祐麻委員、篠原裕子委員（以上18名）
- 5 会議内容 ①議題等に対する委員意見書提出。  
②意見書に対する市の回答等を委員に送付。  
③再度の意見等は無く、書面会議終了。

番号	委員氏名	事業名称等内容	意見・質問	事務局回答等
1	松本 義秀	その他事項 (全般)	昨今の新型コロナウイルス感染対策として、諸事業が中止または縮小されています。本事業において、何か影響が出ている事業があれば教えてください。	<p>【健康推進課】 令和2年3月～5月は、幼児健診やパパママ学級など集団での実施は中止しておりましたが、6月から感染防止策を十分講じて再開、追加日を設ける等の対応で大きな影響はございません。</p> <p>【保育幼稚園課】 教育・保育の実施や一時預かり等の子ども子育て支援事業の実施それ自体においては、中止や縮小等の影響は生じておりませんが、例えば入園式や卒園式等の園行事において、感染拡大防止の観点から、一定の制限を設けて開催する等の影響は生じております。</p> <p>【子育て支援課】 市内9か所にある3歳未満児世帯が利用する拠点施設は3月から休所となり、6月より、各施設の面積に応じた組数、利用を1～2時間に限定し、感染防止策を十分講じた上で開所しています。 お試し保育などの「マイ保育園」は現在も休止しており、再開のめどは立っておりません。</p>

番号	委員氏名	事業名称等内容	意見・質問	事務局回答等
1	松本 義秀	その他事項 (全般)	(前ページ続き)	<p>(前ページ続き)</p> <p><b>【学校教育課】</b>          新型コロナウイルス感染症や、臨時休業により様々な不安を抱える児童生徒に対し、スクールカウンセラー等による相談活動を行いました。          小中学校におけるスポーツ環境につきましては、課外活動や部活動が一部制限されることにより、児童生徒の運動不足等が懸念されているところで          す。          薬物乱用や喫煙防止教育等、全校集会等で外部講師による講習を計画していましたが開催困難となり、各クラスの授業や学級活動を通じての実施となりました。          障がいに応じた教育支援体制における、就学前の教育相談につきましては、時期を調整し、感染防止対策を取りながら実施しました。          引きこもり・不登校対策につきましては、学校の臨時休校に伴い、コスモスの家も臨時休校としましたが、不登校児童生徒宅への家庭訪問や電話相談をするなど、対応を継続して行いました。</p>

番号	委員氏名	事業名称等内容	意見・質問	事務局回答等
2	村上 伸幸	教育・保育の量の 見込及び提供体制 ア陸地部	H29（実績）～R1（実績）の3号：1-2歳において、②-① が各-3、-25、-12となっているのは、この区分において待 機児がいたという意味ですか。そうだとしたら、その程度 を教えてください。例えば陸地部でも旧町村部ではあった かなかったか。旧市であったかなかったか。どの程度かな ど。	<p>H29年度に、当市で初めて待機児童が発生致しま したが、それぞれ3月初日時点における発生状況 は以下のとおりです。</p> <p>[H29年度] 0歳児 29人 1歳児 2人 2歳児 1人 （計32人）</p> <p>[H30年度] 0歳児 36人 1歳児 1人 （計37人）</p> <p>[R1(H31)年度] 0歳児 27人 1歳児 3人 （計30人）</p> <p>[R2年度(12.1時点) ※参考] 0歳児 3人 1歳児 1人 （計4人）</p> <p>H30年度をピークに、R1はやや減少し、またR2年 度は減少する見込です。</p> <p>地域別の内訳については、陸地部のうち旧市内の 園を希望する方がほぼ全てとなっており、島嶼部 では待機児童は発生しておりません。</p> <p>※計画の実績数値は、定員上の受け皿確保量と ニーズ量の関係を表すものですが、当市におい ては「保育士不足」が大きな発生要因であること から、必ずしも②-①の数値と待機児童数は一致し ません。受け皿は充足していても保育士不足によ り待機児童が発生する場合や、逆に受け皿が不足 していても定員を超えた受入れが可能であったこ とにより待機児童が発生しない場合もあります。</p>

番号	委員氏名	事業名称等内容	意見・質問	事務局回答等
3	原田 周範	放課後児童健全育成事業	平成27年3月の事業計画を見比べながら拝見して、特に低学年においては、平成30年度、令和元年度の確保の計画を増やしながらか対応していただき、実績の②-①を見ると、平成27年度から-25、-22、-15、-11、-10と、年々不足数が減少していることをありがたく思います。この不足数が1年でも早く+になるように、引き続いて改善をよろしくお願いいたします。今年度、新型コロナウイルスの関係で臨時休業や分散登校が行われましたが、今後も予断を許さない状況です。出来る限り確保数を増やしていただきたいとお願いいたします。	令和2年度は、しまなみ学童クラブの施設建て替えに伴う受入れ定員の増がありました。また、令和3年4月を目途に、児童クラブ未来が移転先に新施設を建築する予定となっているなど、順次、受入体制の拡充を図っております。今後とも、各小学校の児童数の推移や利用希望者の動向を注視しながら、受入体制の見直しについて検討して参ります。
4	渡辺 美幸	ファミリー・サポート・センター事業	ファミリー・サポート・センターが、新しいところに移動になり、やっとトイレがあります。広々として、とてもきれいなところで安心しました。以前、年長の女の子が「トイレ」と言っ、大雨の中傘をさして駅のトイレまで行ったことがありました。打ち合わせ時間も長時間では無いですが、やはりトイレは必要だと思います。前の場所の看板が外されていないので、迷っている人がいます。早く除けて欲しいです。提供会員としては、車を使うときは、5キロで100円出るようになりましたが、活動費も1時間、松山市のように700円でも良いと思います。	看板については、NPO法人Vサポートの事務所として使用しているため「いまばりファミリー」文字部分のみ12月に削除しました。料金については、R1.9に送迎に関わるガソリン代を加算するため料金改定を実施したところであり、依頼会員にとっての利便性も鑑みて現時点では料金の上乗せは考えておりません。ただ、提供会員の維持等のため、課題の一つと認識はしており、今後は近隣自治体の料金設定を参考に、引き続き調査研究を進めて参ります。
5	砂田 ひとみ	マイ保育園事業のおためし一時保育（半日無料体験）について	保護者と満1歳から満3歳になるまでの子供が対象で、親子で3回まで無料体験ができますとあります。主任児童委員が「こんにちは赤ちゃん事業」で乳児家庭訪問の際、マイ保育園事業等お知らせしております。産休・育休明けに職場復帰する母親に聞いてみると、「子どもが1歳になるのを期に。」という声が多く、満1歳からの利用では間に合わないとのこと。マイ保育園実施施設のご都合もおありかと思いますが、広く無理なく利用していただけるよう、ご検討いただきたく存じます。	満1歳前の「お試し保育」のニーズがあることは把握しておりますが、0歳児の教室は衛生面に特に気を使っており、内部でも毎月の保菌検査を受けた職員しか入室できない仕組みであるため、現場からの意見も踏まえ、現在のメニューになっているところです。現状、施設見学可能な園（所）で環境等を知ってもらう形での対応となっているところですが、よりニーズに応じた事業となるよう検討して参ります。

番号	委員氏名	事業名称等内容	意見・質問	事務局回答等
6	梶原 淳一	人権教育の推進	先日、校区小学校にて人権・同和教育参観日があり出席致しました。日曜日の開催ということで、多くの保護者（特に父親）が出席されていました。勉強や部活動、習い事などの話題から、時には人を思いやる心の大切さ、一人ひとりの個性、勇気の必要な時など、親子で話す機会になればなと思ひながら、熱心な先生たちの参観しました。	人権・同和教育参観日に参加していただきありがとうございました。これからも教職員が研修に励み、児童生徒だけでなく、地域とともに人権・同和教育について考えていけるようにしていきます。
7	泉 浩徳	育成に向けた学校の教育環境整備	全国的にもソーシャルワーカーの配置が進んでおります。今治市においても日吉中学校等の元校長先生がスクールソーシャルワーカーとして配置されていますが、社会福祉士資格を持った第三者の配置を進める事が必要かと思ひます。	社会福祉士資格を持ったスクールソーシャルワーカーの配置については、今後、学校現場からの要望や他市の取組等を参考に、検討して参ります。
8	村上 伸幸	ひとり親家庭への介護人の派遣	H29～R1の実績を教えてください。実人数（世帯）、延人数（世帯）。	愛媛県から愛媛県母子会への委託事業ですが、H29～R1年度における、今治市での実績はございません。
9	渡邊 美幸	低出生体重児への支援	地域子育てサポーターとして、枝堀児童館の親子交流会に参加させてもらっています。現在、6年生の男の子が、1～2歳の時に来てくれていました。32週1231gで生まれ、お母さんもずっと小さい（細い）ので悩んでいました。言葉も遅く人見知りでしたが、私たちには笑顔を見せてくれました。3歳健診の時に、みんなの前で保健師さんに「お母さん、どうしたんですか？」と言われ、傷ついたと言っていました。BMIがマイナスになっていたらしく、お母さんはすごくショックを受けていました。夜中もなかなか寝ず、毎日3時ぐらいまで起きていて、夜食も作り、たくさん食べても太らない。赤ちゃんの時は家に来てくれて保健師さんが色々相談に乗ってくれたのは大変助かりましたとのことです。	低出生体重での出生、子育てはお母さんは心配が多かったと思います。健康推進課では、子育て世代包括支援センターを中心に妊娠・出産・育児の切れ目ない支援を行っております。低出生体重児に限らず、赤ちゃん訪問時、相談時、健診時に母子と寄り添いながら支援を継続していきたいと思ひます。

番号	委員氏名	事業名称等内容	意見・質問	事務局回答等
10	中川 豊和	小学生の放課後の過ごし方	児童クラブや習い事が多いようですが、地域によっては児童館もあり、その利用も少し増えてきています。公民館や公園の利用率が下がる中、安心・安全な場所であるので、もっと活用して欲しい。	市内7児童館では、児童健全育成活動(児童への「遊び」や「体験」の提供)、子育て支援活動(子育て講座等のプログラムや交流の場の提供)、地域福祉活動(地域イベントへの参加や保育人材の育成等を通じた環境づくり)を行っています。コロナ禍において、行動範囲に大幅な制限が生じている中、児童の「遊び」や「体験」、保護者のみなさまの子育てを学ぶ機会も大幅に減ってきております。今治市児童館においては、今後とも衛生管理の徹底を行うとともに、安心・安全なプログラムや環境づくりに取り組み、またSNS等を通じた情報発信力の強化を図ることで、児童館利用の促進に繋げて参りたいと考えております。
11	中川 豊和	子育て全般について	子育てに関する負担について、「非常に不安や負担を感じる」割合が、前回7.8%、今回7.1%と減少しています。様々な子育て施策の取り組みによるもので、評価されていることと思います。	今後におきましても、関係機関と連携しながら、子育て世帯の継続的支援が行えるよう努めて参ります。
12	中川 豊和	児童虐待について	今年度は新型コロナの影響で、特に気になるところです。更なる啓発活動を望みます。	子育て支援課内「こども家庭相談室」で電話・来所相談を対応しております。今年度の啓発活動として、①民生児童委員協議会役員会において啓発、及び富田総ぐるみこどもまもり隊理事会に啓発資料を配付。②今治市広報11月号に児童虐待防止チラシを折り込み。③保育所、幼稚園、認定こども園、小中学校等に啓発資料を送付。④R3年1月に子どもの虐待防止講演会の実施を予定しております。引き続き効果的な啓発活動に努めて参ります。

番号	委員氏名	事業名称等内容	意見・質問	事務局回答等
13	中川 豊和	教育環境の充実	コミュニティスクールの広がり、タブレット対応への変化に対して、今後は地域・PTAの力も併せた、学校の在り方について話し合うことが重要になってくると思います。	タブレット型端末の使用については、授業の全てがタブレット中心に変わるわけではございません。写真を撮ったり、インターネットで調べたり、意見を書き込んだり、今まで使用していた、本、ノート、黒板等の使用が、一部タブレットに置き換わる程度の変化になります。令和3年度においては、まずは児童生徒も教師も慣れ親しみ、何ができるか検討する期間だと考えております。ある程度端末を活用できるようになった後、コミュニティ・スクールを通じて児童生徒の使用の補助等を、地域の方にお問い合わせする機会もあるかもしれませんので、その際にはご協力をお願いいたします。